

## 第 32 回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和 2 年 8 月 6 日（木） 8:30～

場所：401 会議室

### 【協議事項】

防災交通課長：新聞等のメディアでも報道されているが、本日、愛知県新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、愛知県独自の緊急事態宣言が発出される予定となっている。県としては、県内感染者が 7 月下旬から 9 日連続で 100 人を超えていることが大きな要因となり、お盆休み前に、事業者の方を含めた県民への自粛を要請するために発出するものと考えられる。

内容として、1 つ目は「不要不急の外出自粛」「若年層への行動自粛」「5, 6 人以上の会食の自粛」が挙げられている。2 つ目は、「県をまたぐ不要不急の移動」。3 つ目は事業者向けとして、「感染防止対策の徹底」があり、栄地区等の飲食店への営業自粛が含まれている。

前回の対策本部会議の中で、お盆休み前に市民へのメッセージを出すこととしており、県の緊急事態宣言を受けて、公共施設で啓発ポスターの掲示と、施設利用者へ利用の再検討を促すちらしを配布し、市民への更なる啓発を行っていく。

市長メッセージについては、宣言の発出後、SNS 等で発信していく。

副市長：今話のあったように、前回の対策本部会議開催時に、お盆休み前に市民へのメッセージを出すこととしたが、このタイミングで県の緊急事態宣言が発出される見込みなので、市としても対応をしていく。また、メッセージは市民の方への内容になっているが、職員へも同じことが言えるので、職員に対して、よく注意・認識するよう指導すること。

市長：内容は再度検討したい。

副市長：発表前に市長と内容の打ち合わせを行うこと。学校については、なにか報告はあるか。

教育長：市内の小中学校は、8 月 1 日から 8 月 23 日まで夏季休暇に入っている。ただし、中学校については、今週、臨時出校日とし、午前中のみ授業を行っている。

また、8 月 25 日から順次、各小中学校で修学旅行を予定しているが、市内感染者も出ており、全国的にも小中学生の感染者が相次いでいることから、検討していく必要がある。学校現場でも、可能な限り感染予防対策は徹底していく。この先、近隣市町でも順次夏季休暇に入り、家族での移動が増えることが想定される。それに伴い、児童に関連する感染拡大も懸念されるが、今後も、学校現場としては警戒を緩めずに、児童の指導に当たっていく。

副市長：では、今説明があったとおり、対応を進めていきたい。他になにか意見・報告はあるか。

市長：これまでも言ってきたが、コロナを理由に、本来進めるべき事業を止めてしまうことは避けること。会議なら書面決裁など、あらゆる手段を検討・駆使して進めること。

教育長から学校についての報告もあったが、感染が広がって学校休業となった際に、オンラインを行っていく準備はできているか。第一波の際にオンライン授業の準備はできているはずだが、コロナを理由に止めたり、逃げたりは決してしないこと。どのように感染予防しながら、進めていくのかを考えることが重要。特に、学校については、感染が広がる可能性が十分に考えられる。感染拡大に伴う学校休業については、今後、想定可能な範囲内なので、学生の勉学のフォローについては、今から準備しておくように。

副市長：では、教育部は今の件を検討しておくこと。本部会議はこれで終了とする。